第3期四谷地区協議会会議録						
分科会名	第1分科会			開	開催回	第4回
開催日	平成22年7月20日(火)					
出席者	区民	11名	職員	Į	出張所職員2名 他1名	
主な協議 と決定に ついて	1、観光まちづくりについて					
	2、四谷を識(し)る勉強会について(9月18日開催)					

1、観光まちづくりについて

高橋アドバイザー来会

(仮称)四谷観光ガイド実行組織準備会の骨子案確認と意見交換

骨子案の説明

- ・実行委員会準備会に委ねていく部分の確認
- ・準備会を設置し地域に呼びかけ多くの方に参加を求める
- ・来年度に実施される協議会改選を鑑みて組織形態を今後どのようにしていくかを準備会 の中で検討していく

地区協議会の組織として活動する準備会とは

準備会の位置づけは、第1分科会の一つのプロジェクト(協議会の組織)とする。

具体的なものについては準備会で検討。 その後討議事項の確認、意見調整を第1分科会で行なっていく。

協議会(役員会)では第1分科会より随時、進捗状況の報告を受け、活動内容の確認をし、協議の上承認する。

## 【意見交換】

懸案事項として

- ・権限委任をどのようにしていくのか。
- ・観光ガイドの料金設定をどのようにするのか。
- ・観光ビュロー(観光課)との関係について。・・・・等が意見された。 懸案事項の解決策として

第1分科会メンバーが準備会に入り、利用者側と地域側がよい関係を結べるように協議し整理していく。(参加希望委員(第1分科会)現在3名)

準備会委員長には田中委員が決定された。

#### 高橋一夫先生のアドバイス

今後第1分科会で大切なことは、準備会で決定されたことを検討し十分に議論することです。皆さん(第1分科会委員)が準備会に直接参加しながら(組織運営の細目)決定していくことをしていけば、懸案事項の解決もスムーズであると思います。

そして、準備会のやる気(意欲)を出していくことが必要です。

単に準備会を下部組織として利用するのではなく、参加する方々が意欲的に取組み平等な立場で意見交換できる組織づくりを目指すことが大切かと思います。

最終的に3月に予定される協議会全体会で答申していけるように調整とられてはいかがでしょうか。

ここで(協議決定の)ポイントとなるのは<u>観光まちづくりに関する地域の「心」</u>だと思います。 右図参照 <sub>好意</sub>

第1分科会では地域住民が苛立ち、

割り 第1分科会 無関心 無関心 無関心 の役割り 受身 様悪

## 今後の計画案

る活動になると思います。

「歴史博物館ガイドボランティアによる四谷在住の方の四谷の案内によるまち歩き体 験会」を開催

8月21日(土) 歴史博物館集合 9:00~11:00

(レガスガイドボランティア料金 10人まで 4000円 10人超えると@400円) @資料代金込み=実費弁償

協議会委員全員に周知する。

- 9月18日開催地域勉強会の前の時間(午前中)に「ガイドとの意見交換会」を開催
- ・自分たちが日頃見て、知っている「四谷」とガイドされ、あらためて見る「四谷」 を確認したい。
- 2、四谷を識(し)る勉強会について(9月18日開催)
  - ・計画案概要

テーマ「四谷のまちを知り尽くす - 風情 (景色)を学ぶ」

内容: 荒木町界隈、玉川上水などに縁ある横丁・坂などの歴史的背景を学ぶ。

展示コーナーを設置して四谷の新旧の写真を展示する。

講師は歴史博物館鈴木副館長

「四谷学」の名前を使用するにあたり、四谷中学校学校長に承諾をいただく。

# 3、テーマ別活動報告 他

玉川上水

・まだ川の周りをフェンスで囲われていることが残念

草花の養生なので必要なことではないか。

・管理は今御苑側から清掃の方がしているが今後はどうするのか今一度確認したい。 同じような疑問が地域にもあると思う。協議会広報誌を利用し区民に知らしめていき たい。

地域バス他

特になし

## 4、その他

自治基本条例に関する地域懇談会とパブリックコメント募集について

- ・すべてを行政任せにせず、議会、区民も交え区政に参画することをどのように基本条 例に盛り込むかが問われている。
- ・区民アンケートによる結果は討議会検討とほぼ一致してきた。
- ・パブリックコメントには役所が答えを書くのではなく検討会が解答を書くこととした。
- ・地域懇談会には多くの方に来ていただきたい。(別紙懇談会予定表参照)

### 次回日程

・お宝さがし実行委員会 9月7日(火)18時30分~四谷特別出張所会議室 8月は休会

・第1分科会 8月17日(火)18時30分~四谷特別出張所会議室